

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
平成31年度第1回理事会議事録

1. 日 時 : 2019年2月17日(土) 12:00~14:00

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル1階会議室

3. 出席者

(1) 本人出席者 6名

高橋友一、今井俊二、島谷太、中島晃芳、松原仁、水野勝教

(2) 委任状提出者 1名

野村泰朗

(3) 理事以外出席者 6名

金田忠裕(監事)、蟬正敏(監事)、小山航太(WGメンバー)、前田正久(事務局長)、
浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)

4. 議 事

1. H30年度収支決算(案)、事業報告(案)

2. H31年度予算(案)、事業計画(案)

3. 理事・監事改選について

4. 2019ジャパンオープン和歌山について

5. 2020ロボカップアジアパシフィックについて

6. 2019ジャパンオープン併催セミナーについて

7. 議事録署名人の選定

8. その他

5. 資 料

資料1-1. H30年度事業報告書(案)

資料1-2. H30年度収支決算報告(案)

資料2. H31年度予算(案)

資料3. ジャパンオープン和歌山大会について(メール文)

資料3-1. 4月27日(土)会場受付図

資料3-2. 会場図面更新日2019. 01. 23

資料3-3. 入場区分

資料3-4. 和歌山商工振興課からのメール

資料3-5. RCJJ2019和歌山スタッフ旅費 定額支給規程(案)

資料3-6. RCJJ2019和歌山 ビデオ審査の手順(案)

資料4. ロボカップを題材としたSTEM教育

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 平成30年度収支決算(案)、事業報告(案)について

①島谷理事より、資料1-1に基づき、平成30年度事業報告書(案)および資料1-2に基づき収支決算報告(案)について説明がなされ、承認された。

②蟬監事より、平成30年度事業報告書および収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。

(3) 平成31年度予算(案)、事業計画(案)について

①島谷理事より、資料2に基づき、H31年度予算(案)について説明がなされ、今井理事より、世界大会出場チーム旅費補助金に関して、ジャパンオープン参加登録料が予算よりも減った場合を見越した、ルール作りが必要ではないかと提案があり、予算案の100万円を上限にジャパンオープンの参加登録料総額の10%を目途に支給することで承認された。

(4) 2020ロボカップアジアパシフィックについて

①高橋代表理事より、2020ロボカップアジアパシフィックのチラシが回覧され、愛知での開催が正式発表された旨、報告があった。RCJJとしては日本委員会の下、協力することとなった。

(5) 理事・監事改選について

①高橋代表理事より、理事改選について説明がなされ、高橋代表理事、蟬氏、金田氏の両監事は今期で退任し、現理事の今井氏、島谷氏、中島氏、水野氏、松原氏、野村氏と現在ワーキンググループの小山氏、現日本委員会会長の大橋氏、レスキュー技術委員長森重氏、サッカー技術委員の松山氏を次期理事として、田中氏を監事として、総会で諮ることとなった。尚、理事担務案は新体制の下、次回理事会までに検討することとなった。

(6) ジャパンオープン和歌山大会について

①今井理事より、資料3に基づき、参加者スタッフ同意書のWeb化と未成年スタッフ登録の是非を諮った。Web化にすると保護者の直筆による確認がとれないため、これまで通り書面にて同意書を回収することになった。また安全面での配慮から、スタッフ登録できるのは高校生以上とし、地元の中学生はボランティアとして参加していただくことを和歌山大会実行委員会に提案することになった。

② 蟬氏より、資料3-4に基づき、和歌山商工振興課からの要望が説明され、競技に関する問合せ先は、事務局のアドレスに転送することとなった。

③ 高橋代表理事より、エントリーを3月上旬から開始するために、各リーグ推薦枠の確定を早急に確認することと、ホームページの準備を確認した。また、スタッフ募集開始も選手登録と同時にすることが確認された。

④ 蟬氏より、資料3に基づき、会場の設営変更が報告され、ビッグホエールが4月26日から利用できる様になったことから、26日に業者による養生、27日午前からのコート設営、午後からビッグホエールにて受付および車検を行う報告がなされ、了承された。

⑤ 島谷理事より、日本リーグのサッカーコート1台追加とパドック増設の提案がなされ、後日技術委員らと追加できるチーム数等協議することが決まった。また、上記④の報告によりスケジュールに余裕ができたことから、開会式前の時間を含め試合時間を調整することが可能か、技術委員らに合わせて確認することとなった。

⑥ 蟬氏より、資料3-3に基づき、入場区部の説明があり、昨年どおりメンター、同伴者共に登録料を徴収し、昨年同様の入場区分、時間とする旨報告がなされた。

⑦ 今井理事より、資料3-5に基づき、和歌山からスタッフに支払われる旅費について説明があり、①にあるボランティアについてはスタッフに含めない事を含め、和歌山大会実行委員会に提案することになった。

⑧ 今井理事より、資料3-6に基づき、ビデオ審査の手順が説明され、データの容量や時間に制限を設けること、申請者が所属するブロックの関係者は、審査メンバーに選定されないこと等を確認し、スケジュールと合わせ2月末までにホームページなどで周知することになった。

⑨ 蟬氏より、4月28日の交流会の運営は、関西ブロックに一任するとの報告がなされた。

(7) 2019ジャパンオープン併催セミナーについて

①高橋代表理事より、資料4に基づき、セミナー開催と場所の提供依頼の説明があり、蟬氏が場所を確保することで了承した。

(8) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、水野勝教氏、及び松原仁氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成31年2月17日

議長 高橋 友一

議事録署名人 水野 勝教

同 松原 仁

